
ボルグワーナー、48V技術で電気自動車の燃費を向上 グローバル自動車メーカー3社への供給を開始

ボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:ジェームズ・ベリアー/James Verrier)は、駆動システムの需要が世界規模で変化していくと予測しています。また、燃費、機能、性能に対する消費者の需要を満たす上で、フルハイブリッドおよびバッテリー式電気自動車(BEV)向けシステムに加え、48Vマイルドハイブリッド技術が重要なステップになると考えています。ボルグワーナーは、2015年のRemy社の買収と、電動車両向け部品サプライヤーであるSevcon社の今年中の買収合意を通じて、業界で最も幅広い48Vマイルドハイブリッド技術を開発し、提供してきました。

ボルグワーナーは、ハイブリッド車の年間生産台数が2027年までに約2,500万台に達し、48Vシステムは世界のハイブリッド車市場の60%超を占めることになると予測しています。電動コンプレッサー「eBooster[®]」やiBAS(integrated belt alternator starters)といったボルグワーナーの48Vシステムは、廃エネルギーを保存して有効活用し、さらなる駆動力、燃費、性能を提供します。ボルグワーナーは現在、最新システムを利用してeBoosterソリューションの量産化に乗り出しており、ダイムラーの最新式3.0Lガソリンエンジン用をはじめとして、グローバル自動車メーカー3社への販売を開始します。

ボルグワーナーの最高技術責任者 クリストファー・P・トーマス(Christopher P. Thomas)は、「当社は、複数の48V製品分野で事業を展開しているため、個々のテクノロジーをシステムとして機能させることができます。例えば、当社のエンジニアは、電動コンプレッサーeBoosterとiBASを組み込んだ48Vシステムを評価し、バッテリー充電から駆動システムへのニーズに最も効果的に転換する上で最適な制御戦略を決定しました。これによって効率が向上し、エンジンサイズの最適化や、ターボチャージャーと駆動系コンポーネントのより適切な組み合わせが可能となり、自動車メーカーは、パッケージングスペース、アーキテクチャ、デザイン、燃費の革新的な改善を実現します。ベースラインとアプリケーションによっては、燃費が20%改善する可能性もあります。」と述べています。

ボルグワーナーの社長兼最高経営責任者 ジェームズ・R・ベリアー(James Verrier)は、「当社は、電気自動車技術に対する需要と機会の創出に期待を寄せています。これは業界にとって大きな転機となるでしょう。48Vシステムの量産化は、よりクリーンで、よりエネルギー効率に優れた製品という最終目標の達成につながると考えています。当社は、幅広い製品群とシステムに関する深い知識を生かして、自動車メーカーの目標達成を迅速に支援できます。」と述べています。

ボルグワーナーは、フランクフルトの国際モーターショー(IAA)およびミシガン州の「Electric & Hybrid Vehicle Technology Expo」において、電動コンプレッサーeBooster、iBAS、軸上/軸外P2モジュール、eAWD電動モジュール、ワンウェイクラッチ、電動リアドライブモジュール(eRDM)、電動モーター、パワーエレクトロニクス、高効率トランスミッションなど、内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けの幅広いテクノロジーを出展しました。



© BorgWarner Inc.

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー（NYSE: BWA）は、自動車の内燃機関、ハイブリッド車、電気自動車向けのクリーンで高効率な技術ソリューションを提供するグローバルなリーディングカンパニーです。世界 17 カ国 62 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 27,000 人の従業員を擁しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

本プレスリリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待、推測、予測に基づく、1995 年米国私的有価証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「もたらす」、「推測する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「取り組み」、「意図する」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「計画」、「追求する」、「目指す」、「すべき」、「目標とする」、「の場合」、「と見込まれる」といった文言、その変形、同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを明示することを意図しています。将来予測に関する記述にはリスクと不確実性が付随しますが、そうしたリスクや不確実性の多くは予測困難かつ一般に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、予測、示唆された事柄が実際の結果と著しく異なる場合があります。そうしたリスクおよび不確実性には、国内外の車両生産の変動、OEM 企業による外部サプライヤーの継続的な利用、当社製品が使用された車両の需要の変動、一般的な経済情勢の変化、直近の Form 10-K 年次報告書で挙げたリスク要因をはじめとして当社が証券取引委員会に提出した報告書で述べたリスクが含まれます。当社は、将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 副島、中井、小田

TEL : 03-3571-5326 FAX : 03-3574-0316